

公表

## 事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	こどもプラス東浜教室		
○保護者評価実施期間	令和 8年 2月 2日		～ 令和 8年 2月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	令和 8年 2月 2日		～ 令和 8年 2月12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	8年 2月 25日		

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日々の運動療法を通して、身体的、精神的、社会的な発達の総合的な支援を行っています。基礎運動能力の向上、感覚統合の促進、自己肯定感の醸成、集団適応力を育てています。	遊びの要素を通してお子様が、体を動かす楽しさを知り、心身の機能向上に意識して取り組んでいます。	お子様一人ひとりの苦手を克服できるようなカリキュラムで発達の改善、知能向上を目指し取り組んでいます。
2	野外活動を通して対人スキル、自己管理能力、安全意識など、幅広い能力を学び育てています。	野外活動を通し、目的意識を持って取り組み、お子様たちが自分たちで話し合い動けるようサポートを行っています。	お子様たちの年齢や経験、心身の状況によって野外活動の選択を行っています。
3	毎月のクッキングを通して、手先の器用さや段取り力といった「考える力」、五感を使った「想像力」、最後までやり遂げる「集中力、忍耐力」を学び、「自分でできた」という達成感と自己肯定感、食への感謝や興味、心、脳、からだ、食生活に渡る多くの成長を促しています。	クッキングを行う際は、安全と安心を最優先にし、調理前に必ず手洗いをし、食中毒を防ぎ、年齢別にできることをおこなっています。	作って食べるまでの過程に、たくさんの「やった！」や「嬉しい」があるように、お子さまのリクエストメニューを受け入れながら取り組んでいます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士、きょうだい同士での交流する機会がすくない。	今後は保護者同士、きょうだい同士での機会を設けたいです。	保護者会等の場を設けていきたいです。
2	地域との交流がすくない。	今後は地域との交流を行いたいです。	こちらから企画等を提案して、地域との交流を行いたいと思います
3	活動プログラムが固定化しがちである。	今後は活動プログラムを増やしていきたいです。	職員、お子様たちの意見を取り入れ、楽しみながら、なおかつ安全にできる活動プログラム、支援する場を増やしていきたいです。